

第 1 回 東海市スポーツ推進会議 次第

日時：令和 8 年（2026 年）7 月 17 日（金）午前 10 時 30 分から

場所：市役所 603 会議室

1 自己紹介

2 協議事項

（1）委員長等の選出について

（2）スポーツ推進計画の令和 7 年度施策評価について

資料 1

（3）令和 8 年度の主な事業について

資料 2

（4）スポーツ推進計画の推進について

資料 3

3 その他

次回開催予定：令和 8 年 10 月

令和 7 年度（2025 年度）施策評価シート

1 評価シートの位置づけ

東海市スポーツ推進計画（令和 4 年度から令和 10 年度）の施策に基づき実施した事業や次年度以降の方向性等について、東海市スポーツ推進会議において確認を行い、当該年度の施策を評価したもの。

2 スポーツ推進計画の基本的な考え方、計画目標・テーマ

自ら身体を動かして行う「する」スポーツだけでなく、プロスポーツを始めとした各種競技大会を観戦する「みる」スポーツ、監督・指導者や大会のスタッフ・ボランティア、また、ファンとして関わる「ささえる」スポーツの場面での取組を進め、スポーツに関わる人を増やし、市民の心身の健康を高めるとともに、スポーツを通して人と人との交流を深め、地域の一体感や活力あるまちづくりにつなげていくことで、東海市都市宣言の「生きがいがあり健康なまち東海市」の実現を目指す。

【計画目標】 スポーツに関わる人を増やし、健康で活力あるまちづくりに貢献する。

【テーマ】 スポーツを「しよう！」「観よう！」「支えよう（応援しよう）！」

～ スポーツのチカラで、一体感と活力を！ ～

3 指標の推移

基本 施策	成果指標	基準値 R1 年度	現状値 R6 年度	現状値 R7 年度	目標値 R10 年度
I	スポーツを実践している人の割合	51.4%	50.7%	48.0%	55.9%
II	全国大会等出場件数	205 件	269 件	310 件	230 件
III	市外からのスポーツイベント参加者数	2,169 人	3,078 人	3,131 人	3,300 人
IV	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合	65.3%	53.9%	57.0%	72.0%

基本施策 I

スポーツライフの推進

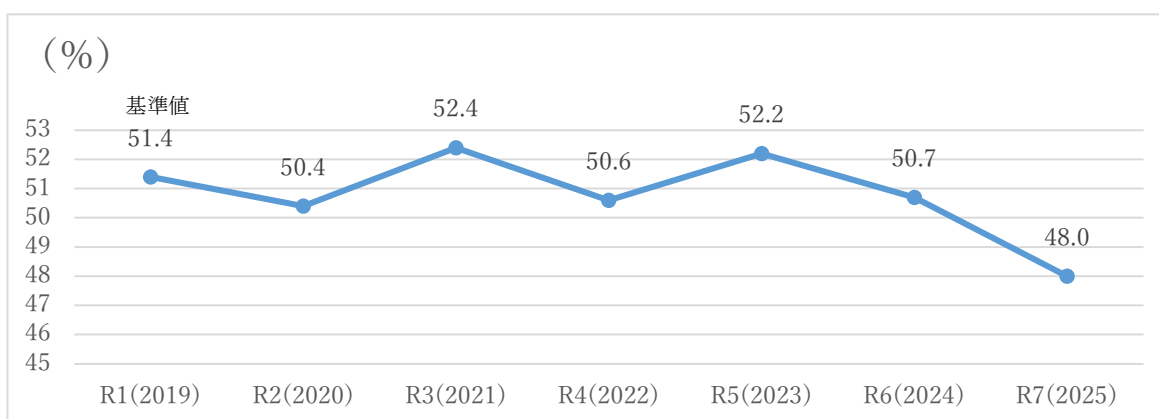


誰もが体力や年齢、障がいの有無等に関わらず、気軽にスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ事業の充実を図るとともに、身近な地域での活動も拡充する。また、各種スポーツ大会の開催支援やスポーツを支える指導者を増やすなど、市民の生涯にわたるスポーツ活動を推進する。

① 指標の推移

成果指標：スポーツを実践している人の割合

目標値：55.9%



△

対基準値：3.4 ポイント減／目標値達成率：▲75.6%

基準値に対して、改善○、横ばい△、悪化×

② 主な取組

1-1 生涯スポーツ活動の充実

取組の方向性	参加しやすいスポーツ機会の充実 子どもたちのスポーツ機会の充実 働く世代のスポーツ機会の充実 スポーツ関係団体との連携
主な事業	スポーツ推進委員会設置事業（市・スポ進）、地域スポーツ振興事業（コミュ・スポ進）、みんなでウォーキング（市・スポ進・民間）、ふれあいスポーツ大会（市・身障者福祉協議会）、シニア健康フェスティバル（市・クラブ）、スポーツ出前授業（市・企業）、各種スポーツ教室・体験会（市、大学・スポ進・クラブ・指定管理）スポーツフェスティバル GO!GO!とうかい（クラブ）、スポーツ体験会、障がい者スポーツボランティア活動、学校部

	活動支援ボランティア（大学）、卓球・吹き矢・ボッチャ部活動（身障者福祉協議会）、水泳教室開催事業（市）、ちびっこ相撲開催事業（市）
課題・次年度の方向性	時間が無い人が気軽に組み入れるスポーツの展開、家族で組み入れるイベントの開催や、普段運動をしない人のスポーツ機会の創出について検討する必要がある。

1-2 競技スポーツ活動の充実

取組の方向性	競技活動のできる環境の確保 スポーツ指導者の育成及び派遣制度の確立
主な事業	ジュニアスポーツフェスティバル（市・クラブ・小中学校）、各種市民大会（クラブ）、スポーツ指導者認定制度、ジュニアクラブ活動（クラブ・大学）、スポーツ指導者派遣（大学）、学校部活動地域展開推進補助事業（市）
課題・次年度の方向性	中学校部活動の地域展開が開始となり、地域でのスポーツ活動が拡充されるよう検討する必要がある。

③ 施策の評価

施策の成果動向は、「横ばい」と評価する。

「スポーツを実践している人の割合」は、基準値から 3.4 ポイント減少している。年齢別では、10代は高いが、30代がやや低い。学区別では、三ツ池が高い。

子育て世代や働く世代が参加できるようなスポーツ機会の提供が、不足していると考ええる。

家族で気軽に参加できるイベントを開催するなど、普段運動していない人のスポーツ機会を増やすとともに、地域でのスポーツ活動が拡充されるよう検討する必要がある。

成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」のいずれかで評価

基本施策Ⅱ

アスリート活動の推進



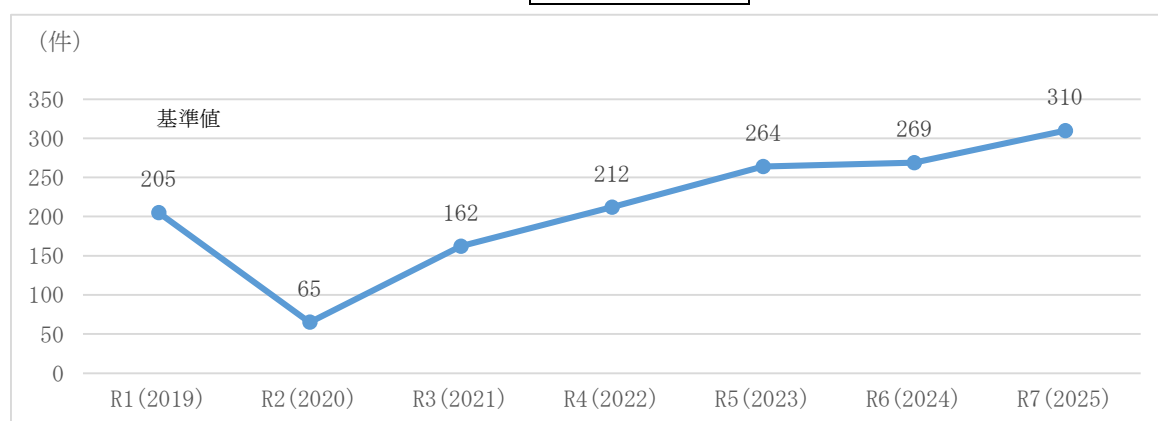
ふるさと大使である企業スポーツチーム等と連携して試合観戦やスポーツ教室等の機会を提供し、アスリートの発掘・育成に努める。

また、全国大会等に出場する選手の激励事業や優秀な成績を収めた選手や団体を表彰するなど、アスリート活動を支援する。

① 指標の推移

成果指標：全国大会等出場件数

目標値：230 件



○

対基準値：105 件増／目標値達成率：420.0%

基準値に対して、改善○、横ばい△、悪化×

② 主な取組

2-1 アスリートの発掘・育成

取組の方向性	企業スポーツチーム等との連携 目標となる大会等の開催 一貫した活動体制の整備
主な事業	愛知駅伝大会派遣事業（市・クラブ・学校・企業） ふるさと大使等スポーツ連携交流事業（市・クラブ） 山崎武司杯、大同フェニックスカップ（企業）
課題・次年度の方向性	引き続きふるさと大使等地元企業スポーツチームなどと連携した試合観戦やスポーツ教室等を開催する。

2-2 アスリートの支援

取組の方向性	アスリート活動の支援
主な事業	全国大会出場者激励事業（市）、スポーツ功労者表彰（クラブ）、ミラノ・コルティナ 2026 オリンピック冬季競技大会出場者応援事業
課題・次年度の方向性	引き続き全国大会出場に伴う激励制度の周知を図り、身近なアスリートの活躍を市民に伝え、応援するとともに、市民のスポーツ機運を高める。

③ 施策の評価

施策の成果動向は、「順調」と評価する。

「全国大会等出場件数」は、基準値から 105 件増加しており、全国大会出場者に対する激励制度が定着してきたことやオリンピック出場選手の応援事業などの実施を通して、アスリートを支援する環境整備が進んでいることが要因と考える。

引き続き、ふるさと大使等地元企業スポーツチームなどと連携した試合観戦やスポーツ教室を開催するとともに、目標となる大会等の開催や、ジュニアスクールの充実を図るなど、アスリートの発掘・育成に努めていく。

成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」のいずれかで評価

基本施策Ⅲ

スポーツによる交流の推進



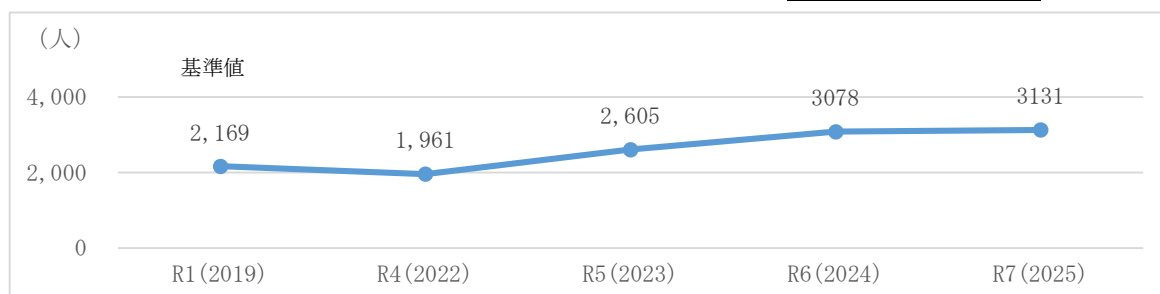
ハーフマラソン等の魅力あるスポーツイベントの開催や姉妹都市等とのスポーツ交流を推進し、広域的な交流人口の拡大を目指します。

また、トップチームやアスリートの試合・合宿等を誘致し、スポーツ交流によるまちのにぎわいづくりを推進します。

① 指標の推移

成果指標：市外からのスポーツイベント参加者数

目標値：3,300人



○

対基準値：962人増／目標値達成率：85.1%

基準値に対して、改善○、横ばい△、悪化×

② 主な取組

3-1 広域的なスポーツ交流活動の充実

取組の方向性	大規模スポーツイベントの開催 姉妹都市等とのスポーツ交流の推進 トップチーム等の試合や合宿の誘致
主な事業	東海ハーフマラソン（市・企業・大学・クラブ・コミ・小中学校、スポ進）、姉妹都市スポーツ交流事業（市・クラブ）、身障者スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会（身障者福祉協議会）、アジア競技大会開催支援事業（市）、アジア競技大会ボランティア登録（大学）、日本ハンドボールのリーグHホームタウン開催（企業・指定管理）
課題・次年度の方性	主要事業である東海ハーフマラソンを軸に、各種団体との連携の強化と、これまでの反省点の改善を踏まえて、より魅力ある事業展開をする必要がある。

③ 施策の評価

施策の成果動向は、「順調」と評価する。

「市外からのスポーツイベント参加者数」は、基準値から 962 人増加しており、東海ハーフマラソンにおいて、市制 55 周年以降で募集定員を増やしたことと、大会の認知度の向上により参加者が増加したものとする。

次年度も課題を改善し、より魅力ある大会とすることで、更なるスポーツ振興と交流人口の拡大を図る。

また、来るアジア競技大会に向け、市全体の機運を高め、市民一体となった取組について検討をし、一層のスポーツ振興を図るとともに、更なるまちの活性化につなげる。

成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」のいずれかで評価

基本施策Ⅳ

スポーツに親しむ場の整備

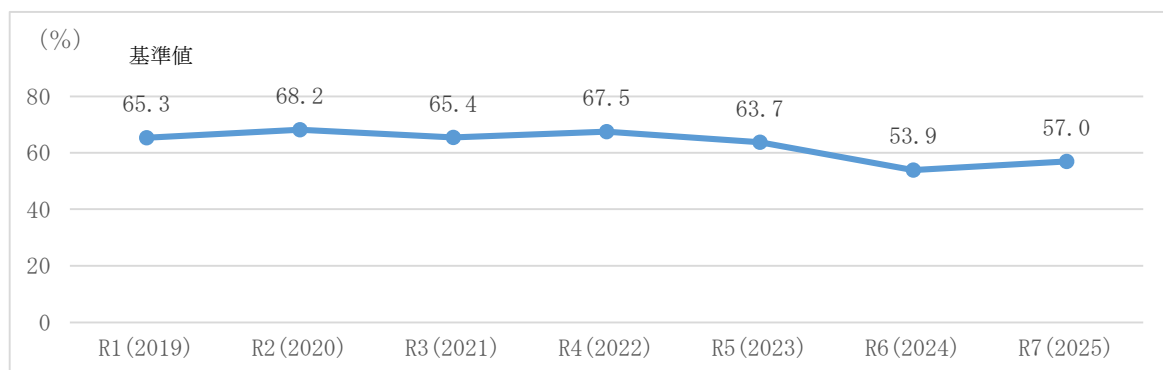


利用者が安全に安心してスポーツに親しむことができるよう、施設の長寿命化を図るなど、適切な管理運営に努める。

また、市民に身近な公園や緑道等を活用し、スポーツ交流拠点機能が果たせるように整備を進めるとともに、スポーツ施設の在り方についても検討する。

① 指標の推移

成果指標：スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合 **目標値：72.0%**



△

対基準値：8.3 ポイント減／目標値達成率：▲123.9%

基準値に対して、改善○、横ばい△、悪化×

② 主な取組

4-1 スポーツ施設の整備・運営

取組の方向性	スポーツ施設の在り方の検討 スポーツ施設の整備 スポーツ施設の管理運営
主な事業	市民体育館管理運営・アジア競技大会市民体育館整備、吊物機構設備改修・外壁等改修・自動火災報知設備改修・ルーバー改修・事務室等空調機改修（市）、屋外運動場施設管理運営（市）、青少年センター跡地活用事業（市）
課題・次年度の方向性	アジア競技大会カバディ種目の開催に伴い、市民体育館の改修を引き続き行う。 また、市内スポーツ施設の活用調査の結果を踏まえた施設の整備を進めるとともに、時代に即したスポーツ施設の在り方を検討する必要がある。

4-2 身近なスポーツ環境の整備

取組の方向性	公園や緑道等の整備・活用 学校体育施設の活用 大学や企業、民間スポーツ施設との連携
主な事業	地域・生涯スポーツ推進活動事業、学校体育施設スポーツ開放事業(市)、都市公園でのスポーツ用具の貸出(市・指定管理)、企業スポーツ施設の地域開放(企業)
課題・次年度の方向性	公園や緑道等の身近で運動できる環境の整備を継続するとともに、市民需要を踏まえたスポーツ施設の整備を進める。

③ 施策の評価

施策の成果動向は、「横ばい」と評価する。

「スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合」は、基準値から 8.3 ポイント減少している。年齢別では 16～29 歳の若い世代の数値が高く、地区別での差異は見られない。

各スポーツ施設の維持・管理のみならず、身近な公園整備や学校のスポーツ開放の充実等の需要が高まっているものとする。

次年度は、市内スポーツ施設活用調査の結果を踏まえ、旧青少年センター跡地において、市民の需要が高いバスケットボールを屋外で気軽に楽しめるよう、新たなスポーツ施設の整備を進め、スポーツをしやすい環境整備に努める。

成果動向を「順調」「横ばい」「順調でない」のいずれかで評価

計画目標		テーマ		
スポーツに関わる人を増やし、健康で活力あるまちづくりに貢献する		スポーツを「しよう!」「観よう!」「支えよう(応援しよう)!!」 ～ スポーツのチカラで、一体感と活力を! ～		
施策	単位施策	取組の方向性	R7 主な事業	R8 主な事業
基本施策Ⅰ スポーツライフの推進	1 生涯スポーツ活動の充実	(1) 参加しやすいスポーツ機会の充実 (2) 子どもたちのスポーツ機会の充実 (3) 働く世代のスポーツ機会の充実 (4) スポーツ関係団体との連携	・スポーツ推進委員会設置事業（市、スポ進） ・地域スポーツ振興事業（コミュ・スポ進） ・みんなでウォーキング事業（市・スポ進・民間） ・ふれあいスポーツ大会（市・身体障害者福祉協議会） ・シニア健康フェスティバル（市・クラブ） ・総合型地域スポーツクラブ補助事業（市） ・スポーツ少年団活動支援（クラブ） ・スポーツ推進会議設置事業（市） ・スポーツ出前授業（市・企業） ・スポーツ教室(クラブ) ・スポーツフェスティバルGO!GO!とうかい(クラブ・スポ進・指定管理) ・スポーツ体験会（市・指定管理・スポ進・クラブ） ・スポーツ体験会（大学祭にて）（星城） ・卓球部（身体障害者福祉協議会） ・吹き矢部（身体障害者福祉協議会） ・ボッチャ部（身体障害者福祉協議会） ・障害者スポーツのボランティア活動（日福） ・学校ボランティア（部活動支援）（日福） ・水泳教室開催事業（市） ・ちびっこ相撲開催事業（市）	・スポーツ推進委員会設置事業（市、スポ進） ・地域スポーツ振興事業（コミュ・スポ進） ・みんなでウォーキング事業（市・スポ進・民間） ・ふれあいスポーツ大会（市・身体障害者福祉協議会） ・シニア健康フェスティバル（市・クラブ） ・総合型地域スポーツクラブ補助事業（市） ・スポーツ少年団活動支援（クラブ） ・スポーツ推進会議設置事業（市） ・スポーツ出前授業（市・企業） ・スポーツ教室(クラブ) ・スポーツ体験会（市・指定管理・スポ進・クラブ） ・スポーツ体験会（大学祭にて）（星城） ・卓球部（身体障害者福祉協議会） ・吹き矢部（身体障害者福祉協議会） ・ボッチャ部（身体障害者福祉協議会） ・障害者スポーツのボランティア活動（日福） ・学校ボランティア（部活動支援）（日福） ・水泳教室開催事業（市） ・ちびっこ相撲開催事業（市） ★カバディ体験会（日福・星城） ★フラッグフットボール推進（星城）
	2 競技スポーツ活動の充実	(1) 競技活動のできる環境の確保 (2) スポーツ指導者の育成及び派遣制度の確立	・ジュニアスポーツフェスティバル（市・クラブ・小中学校） ・ジュニアクラブ活動（クラブ・星城） ・各種競技市民大会（クラブ） ・スポーツ指導者認定事業(クラブ・星城) ・地域スポーツ振興の研修講師（日福・星城） ・スポーツ指導者派遣（日福・星城） ・学校部活動地域展開推進補助事業（市）	・ジュニアクラブ活動（クラブ・星城） ・各種競技市民大会（クラブ） ・スポーツ指導者認定事業(クラブ・星城) ・地域スポーツ振興の研修講師（日福・星城） ・スポーツ指導者派遣（日福・星城） ・ジュニアクラブ補助事業（市） （旧：学校部活動地域展開推進補助事業） ★SC東海U15スポーツフェスタ（クラブ）
基本施策Ⅱ アスリート活動の推進	1 アスリートの発掘・育成	(1) 企業スポーツチーム等との連携 (2) 目標となる大会等の開催 (3) 一貫した活動体制の整備	・愛知駅伝大会派遣事業（市・クラブ・企業） ・ふるさと大使等スポーツ連携交流事業（市・クラブ・企業） ・山崎武司杯（クラブ） ・大同フェニックスカップ（企業）	・愛知駅伝大会派遣事業（市・クラブ・企業） ・ふるさと大使等スポーツ連携交流事業（市・クラブ・企業） ・山崎武司杯（クラブ） ・大同フェニックスカップ（企業）
	2 アスリートの支援	(1) アスリート活動の支援	・全国大会等出場者激励事業（市） ・スポーツ功労者、監督・選手表彰（クラブ） ★ミラノ・コルティナ2026オリンピック冬季競技大会出場者応援事業	・全国大会等出場者激励事業（市） ・スポーツ功労者、監督・選手表彰（クラブ）

★…新規事業

基本施策Ⅲ スポーツによる交流の推進	1 広域的なスポーツ交流活動の充実	(1) 大規模スポーツイベントの開催 (2) 姉妹都市等とのスポーツ交流の推進 (3) トップチーム等の試合や合宿の誘致	・姉妹都市スポーツ交流事業（市・クラブ） ・ハーフマラソン開催補助事業（市・企業等） ・こども剣道教室開催（星城） ・身障者スポーツ大会（身体障害者福祉協議会） ・グラウンドゴルフ大会（身体障害者福祉協議会） ・アジア競技大会開催支援事業（市） ・アジア競技大会ボランティア登録（星城・日福） ・日本ハンドボールのリーグＨホームタウン開催（企業・指定管理）	・姉妹都市スポーツ交流事業（市・クラブ） ・ハーフマラソン開催補助事業（市・企業等） ・こども剣道教室開催（星城） ・身障者スポーツ大会（身体障害者福祉協議会） ・グラウンドゴルフ大会（身体障害者福祉協議会） ・アジア競技大会開催支援事業（市） ・アジア競技大会ボランティア登録（星城・日福） ・日本ハンドボールのリーグＨホームタウン開催（企業・指定管理）
基本施策Ⅳ スポーツに親しむ場の整備	1 スポーツ施設の整備・運営	(1) スポーツ施設の在り方の検討 (2) スポーツ施設の整備 (3) スポーツ施設の管理運営	・市民体育館管理運営（市） ・アジア競技大会市民体育館整備事業（市） ・市民体育館吊物機構設備改修事業（市） ・市民体育館倉庫外壁等改修事業（市） ・市民体育館自動火災報知設備改修事業（市） ・市民体育館天井ルーバー改修事業（市） ・市民体育館事務室等空調機改修事業（市） ・屋外運動場施設管理運営（市） ★青少年センター跡地活用事業（市）	・市民体育館管理運営（市） ・屋外運動場施設管理運営（市） ★加木屋運動公園事務所外壁等改修事業（市） ★大田スポーツ広場整備事業（市）
	2 身近なスポーツ環境の整備	(1) 公園や緑道等の整備・活用 (2) 学校体育施設の活用 (3) 大学や企業、民間スポーツ施設との連携	・地域・生涯スポーツ推進活動事業（市） ・学校体育施設スポーツ開放事業（市） ・都市公園でのスポーツ用具貸出（市） ・企業スポーツ施設開放（企業）	・地域・生涯スポーツ推進活動事業（市） ・学校体育施設スポーツ開放事業（市） ・都市公園でのスポーツ用具貸出（市） ・企業スポーツ施設開放（企業）

★…新規事業

東海市スポーツ推進計画

「スポーツ推進計画の推進について」

1 都市公園の利用に関する実績

(1) 貸出用具について

ア 配備状況

モルック：4セット（平地1、大池2、上野台1）

ノルディックウォークポール：9セット（平地2、大池5、上野台2）

ドッジビー：6個（3都市公園×2個）

インディアカ：6本（3都市公園×2本）

イ 貸出状況

令和7年度スポーツ用品 年間貸出件数実績（都市公園分）

【大池公園】

	モルック		ノルディック		ドッジビー		インディアカ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R7	34	133	0	0	23	86	4	12	61	231
R6	31	128	0	0	25	89	11	48	67	265
R5	26	95	10	10	17	55	5	15	58	175

【平地公園】

	モルック		ノルディック		ドッジビー		インディアカ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R7	17	70	0	0	15	67	9	31	41	168
R6	13	53	0	0	11	33	3	7	27	93
R5	14	62	0	0	2	6	0	0	16	68

【上野台公園】

	モルック		ノルディック		ドッジビー		インディアカ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R7	6	22	0	0	3	16	0	0	9	38
R6	4	16	0	0	4	11	1	3	9	30
R5	9	28	0	0	2	5	1	4	12	37

【全体】

	モルック		ノルディック		ドッジビー		インディアカ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R7	57	225	0	0	41	169	13	43	111	437
R6	48	197	0	0	40	133	15	58	103	388
R5	49	185	10	10	21	66	6	19	86	280

(2) 都市公園でのスポーツイベント等の開催について

ア 市民モルック大会

日時：令和7年5月11日(日)午前9時15分から正午

場所：大池公園多目的広場

参加者数：133名（参考：R8開催 参加者数128名）

イ 長距離練習会

日時：令和7年6月～9月の第1・3火曜日、午後6時30分～8時

場所：大池公園多目的広場

参加者数：216名

ウ RUN BUDY TOKAI（ランバディ東海）

日時：短距離ブロック 毎週木曜 午後6時30分～8時

長距離ブロック 毎週火曜 午後6時30分～8時

土日（月2回程度） 午前中

場所：大池公園、中新田公園等

エ ジュニア陸上クラブ かけっこ教室

日時：日曜日（月2回） 午前8時45分～10時50分

場所：大池公園多目的広場、元浜公園水のテラス前

オ 健康ウォーキング

日時：春開催 令和7年4月29日（火・祝）午前9時30分～10時

秋開催 令和7年11月9日（日）午前9時30分～10時（中止）

場所：大池公園多目的広場

参加者数：春開催81名（参考：R8春開催 129名）

(3) 各都市公園の整備等

ア 老朽化している加家公園の園路（120m）に対し、アスファルト舗装の改修工事を実施。

イ 各都市公園の園内灯を順次、水銀灯からLED照明に取替を実施。

ウ 加木屋緑地、聚楽園公園の園路補修

2 スポーツ指導者バンク登録状況について

(1) 登録状況について

別紙1「東海市スポーツ指導者バンク登録情報」

(2) 参考

別紙2「募集チラシ」

3 第4期スポーツ基本計画について

(1) 第4期スポーツ推進計画の動向について（別紙3）

第45回スポーツ審議会（令和8年7月9日開催）配布資料

「第4期スポーツ基本計画の策定について（中間報告案）（概要）」より抜粋

【https://www.mext.go.jp/sports/content/20260708-spt_sseisaku02-000050955_0000110.pdf】

(2) 第3期からの変更点について

項目	第3期	第4期
基本的な考え方	「スポーツを『つくる・はぐくむ・あつまり、ともに、つながり、誰もがアクセスできる』社会の実現」	ウェルビーイング（幸福・豊かな生活）の実現をより前面に位置付け、スポーツを社会課題解決の基盤として活用
健康	スポーツ実施率向上が中心	健康寿命延伸や予防・医療との連携など、健康政策との結び付きが強化
子どものスポーツ	運動習慣の定着、学校体育・部活動の充実	少子化を踏まえた地域スポーツ環境への転換（部活動の地域展開）が重要テーマ
地域	地域スポーツクラブの充実	地域活性化・地方創生・スポーツツーリズムなど地域政策との連携をさらに強化
競技力向上	オリンピック・パラリンピックを見据えた強化	国際競技力に加え、持続可能なアスリート育成や指導者育成を重視
デジタル	ICT活用	DX・AI・データ活用をスポーツ運営や指導に本格的に導入
安全・安心	暴力・ハラスメント防止	スポーツ・インテグリティ（公正さ・誠実さ・高潔性）に加え、熱中症対策、気候変動対応、誹謗中傷対策などを強化
共生社会	障害者スポーツや女性参画を推進	多様性・包摂性（インクルージョン）をさらに重視し、誰もが参加できる環境整備を推進

東海市スポーツ指導者バンク登録情報

別紙 1

東海市教育委員会スポーツ課

■野球（軟式）

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
野球（軟式）	中学生	応相談	競技力向上	5年以上	教員・教員OB	交通費及び謝金（2,001～3,000円）	
野球（軟式） ※硬式野球の指導も可	小学生 中学生 高校生 成年 中高年 高齢者	月、火、水、木、金曜日 午後・夜間 応相談	競技力向上 楽しむ	5年以上	教員・教員OB	交通費及び謝金（5,000円～） 要相談	高校野球部指導歴あり （監督20年、総監督11年） 保健体育教師歴37年
野球（軟式）	小学生 中学生	土、日曜日 全日	競技力向上 楽しむ	3年未満	市の研修会を受講した者	交通費及び謝金（2,001～3,000円）	

■ソフトボール

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
ソフトボール	小学生 中学生 高校生 成年 中高年 高齢者	月、火、水、木、金曜日 午後・夜間 応相談	競技力向上 楽しむ	5年以上	教員・教員OB	交通費及び謝金（5,000円～） 要相談	高校野球部指導歴あり （監督20年、総監督11年） 保健体育教師歴37年

■サッカー

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
サッカー	小学生 中学生 高校生	応相談	競技力向上 楽しむ	5年以上	公的資格あり 教員・教員OB	交通費程度（1～2,000円）	

■バスケットボール

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
バスケットボール	中学生	土曜日・全日 日曜日・全日	楽しむ	5年以上	公的資格あり	交通費程度（1～2,000円）	平洲中学校で女子バスケの コーチをしています
バスケットボール	小学生	日曜日・全日	楽しむ	3年未満	公的資格あり	交通費程度（1～2,000円）	緑陽小学校でミニバスケの コーチをしています

■バレーボール

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
バレーボール	小学生 中学生 高校生 成年	応相談	楽しむ	未経験	公的資格あり	交通費程度（1～2,000円）	

■ハンドボール

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
ハンドボール	小学生 中学生	応相談	楽しむ	未経験	公的資格あり	交通費及び謝金(2,001～3,000円)	

■剣道

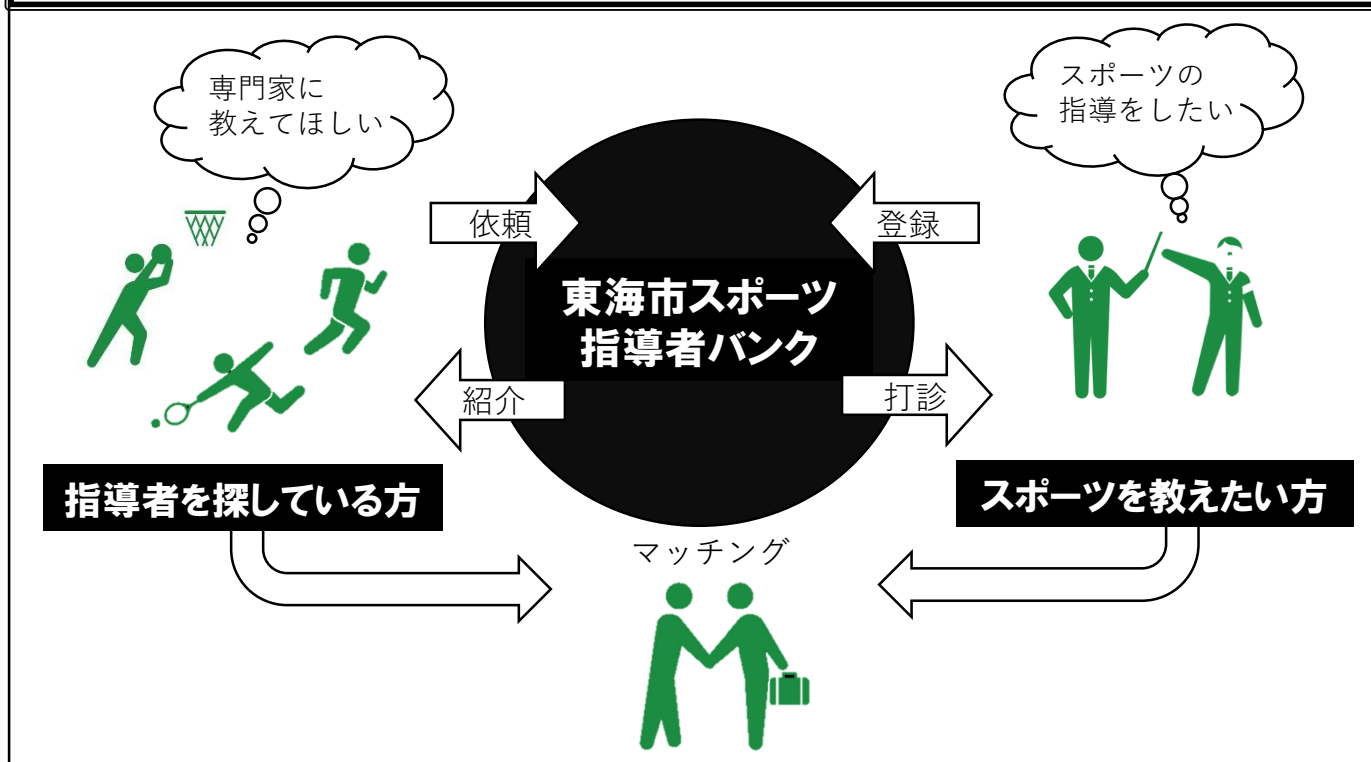
種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
剣道	幼児 小学生 中学生 高校生	土曜日・午前 日曜日・午前 応相談	競技力向上 楽しむ	5年以上	スポーツクラブ東海 認定指導者	交通費程度(1～2,000円)	

■その他

種目	対象	指導可能日時	方向性	指導歴	所有資格等	指導金額	その他特記事項
気功体操、健康体操等コンディショニング・メンテナンス	小学生 中学生 高校生 成年 中高年 高齢者	月、火、水、木、金曜日 午後・夜間 応相談	競技力向上 楽しむ	5年以上	教員・教員OB	交通費及び謝金(5,000円～) 要相談	R7.4～整体業開業

スポーツを教えたい方・指導者を探している方 大募集！！

東海市スポーツ指導者バンクは、スポーツ指導者を探している団体・個人とスポーツを教えたい方をマッチングさせる制度です。



⚠ 指導者の登録条件があります！

18歳以上の高等学校を卒業した者で、以下のいずれかに該当する方

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会その他公的機関等が認定する指導者資格を有する者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校に教員として勤務している者又は勤務していた者
- (3) 東海市スポーツ推進委員である者
- (4) 一般社団法人スポーツクラブ東海の認定指導者の資格を有する者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が適当と認める者

上記の条件を満たしていない方もご安心ください！ **注目！**
市が主催する研修会等を受講することで登録できます。

指導者バンクに登録するメリット

- ◇自分の知識や技術を伝えることができ、チーム等に貢献できる
- ◇自分の条件に合う方の紹介を受けられる
- ◇定期的な研修会の案内や指導者資格等に関する情報を受けられる



スポーツを教えたい方・指導者を探している方は、
市公式ホームページをご覧ください。お問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ：東海市教育委員会スポーツ課（東海市役所 6 階） 052-603-2211 または 0562-33-1111

第4期計画の基本的な考え方

- 社会状況の変化や、スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっている現状に対応するとともに、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態）の向上に向け、スポーツ権の実質化を図る観点から、令和7年、スポーツ基本法が大幅改正された。
- このことも踏まえ、スポーツを通じた社会課題の解決の観点から3つの重点課題を設定し、重点課題の取組を通して、スポーツの楽しさや意義の実感、スポーツの価値のさらなる向上を図ることで、人や組織の関心や行動の変化につなげ、第4期スポーツ基本計画のねらいの実現を目指す。

重点課題

1. 国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献
2. ハイパフォーマンスの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による、成果・知見の社会への還元
3. スポーツの意義や価値を生かした地域・社会への貢献

構成

第1章においては、「第4期スポーツ基本計画のねらい」として、改正基本法の理念やスポーツ基本法の価値、基本計画策定の考え方について記述し、第2章において、重点課題設定の背景等と重点施策について示す。第3章については、総合計画として、重点施策の他、関連施策も含めた全体像を示す。

第4期計画のねらい：スポーツの「楽しさ」で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く

重点課題の取組を通じて、人々がスポーツの楽しさや意義を実感し、人や地域が持つ可能性が引き出され、スポーツを活用した社会課題の解決につながり、未来が切り拓かれていく

重点課題1：国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献

- (1) スポーツの「楽しさ」を軸とした多様なスポーツの推進
- (2) ライフステージに着目したスポーツ実施率を高めるための施策の推進
 - ライフステージに着目しつつも、シームレスな取組を推進
- (3) 多様な背景に着目したスポーツ施策の推進
 - 女性のスポーツ実施の促進
 - 障害のある者のスポーツ機会の充実による共生社会の実現
- (4) スポーツ施策の位置付け強化の推進
- (5) スポーツ実施を促す環境整備の推進
 - スポーツ実施促進を支えるスポーツ関連産業の拡大

スポーツの「楽しさ」



みんなでもっと
スポーツの楽しさを！



重点課題2：ハイパフォーマンスの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による、成果・知見の社会への還元

- (1) スポーツ医・科学、情報等による多面的で高度な支援の実現
 - HPSCの支援の充実と研究の推進、女性アスリートの競技参画の促進、強化活動を支えるDXの推進等
- (2) スポーツ・インテグリティの強化
 - ガバナンス体制の強化、スポーツに専念できる環境の実現
- (3) キャリア形成支援、アスリートの特性を生かした組織の活性化

重点課題3：スポーツの意義や価値を生かした地域・社会への貢献

- (1) スポーツの成長産業化
 - スポーツコンプレックスの推進、スポーツ団体の収益力・財務基盤強化とスポーツ事業運営人材の獲得・育成
- (2) 地域スポーツ資源の活用
 - まちづくりと連携した環境整備、スポーツツーリズム等の地域活性化、担い手となる組織基盤強化
- (3) スポーツを通じた国際交流・協力の推進
 - 国際貢献人材の育成と国際大会の継続的な招致・開催、官民連携による国際交流・協力を通じた諸外国との信頼関係の構築

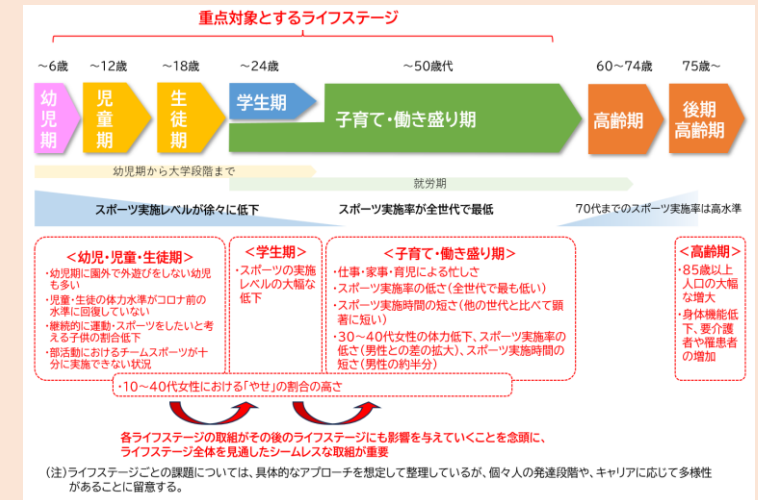
各重点課題の取組の方向性と主な数値目標

重点課題1：国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献

- ◆ 誰もが生涯を通じてスポーツを継続できる環境を整備し、スポーツを活用して経済成長を支える国民一人一人の心身の健康の保持・増進の基盤＝「健康インフラ」の構築を目指す
- ◆ これまでの課題を踏まえ、ターゲットとすべき重点対象を明確化して効率的に取組を進める

【主な数値目標】※スポーツ実施率は、週1日以上運動・スポーツを実施する者の割合をいう
ライフステージをつなぐ数値目標（例）

- ✓ 幼児・児童・生徒期：運動・スポーツをする中で体を動かすことや友達との交流・協力などの多様な「楽しさ」を実感することができている児童・生徒の割合：令和8年度調査予定 等
 - ✓ 学生期（18歳～24歳）：スポーツ実施率※ 60.9% → 65%
 - ✓ 子育て・働き盛り期：
スポーツ実施率※ 47.2% → 55%、男女差 6.2ポイント → なくす
勤務先で運動・スポーツを活用した取組が行われているとする者の割合 21.3% → 30%以上 等
- 多様な背景に着目した数値目標（例）
- ✓ 障害者：スポーツ実施率※ 19歳まで 50%、20歳以上 40%以上



重点課題2：ハイパフォーマンスの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による、成果・知見の社会への還元

- ◆ アスリートとそれに関わる全ての人の「ウェルビーイング」に配慮した国際競技力向上を目指す
- ◆ ハイパフォーマンスの追求や環境整備、アスリートのキャリア形成支援のより多角的な促進等を通じて、その知見等を社会に還元する

【主な数値目標】

- ✓ 研究成果に関する査読付き論文の発表数：毎年度100本以上
- ✓ メディカルチェックで課題ありとされた女性アスリートの割合：67.4%(R7)→減少
- ✓ 適合性審査で要改善事項の指摘を受けた団体のうち、フォローアップにて改善が確認された団体の割合：91.7%(R7) → 100%
- ✓ 「誹謗中傷への対策があることにより、誹謗中傷に起因する不安が軽減された」と答えるアスリートの割合：100%（今後調査予定）
- ✓ アスリートが活躍する企業・団体・地方公共団体等における取組の把握/事例：15事例（今後調査予定）

重点課題3：スポーツの意義や価値を生かした地域・社会への貢献

- ◆ 官民連携やスポーツと他分野との連携など、様々なステークホルダーが連携し、スポーツを通じて地域や社会の目指す姿の実現や課題解決を実現する
- ◆ スポーツを通じて持続可能で包括的な社会づくりや我が国の国際的なプレゼンス向上に貢献する

【主な数値目標】

- ✓ スポーツ市場規模：11.6兆円（R4）→ 15兆円（遅くともR12）
- ✓ エリア全体で経済的価値、社会的価値の創出に向けた運営を行っているスポーツコンプレックスの件数の増加
- ✓ 年間を通じ平日に学校体育施設を地域で共同利用する学校の割合：71.8% → 100%に近づく
- ✓ 訪日外国人のスポーツツーリズム関連消費額：800億円
- ✓ 国際機関における役員数：IF等42人（R7）→ R8の人数規模を維持・拡大【P】